



板一小だより

第 450 号

令和6年4月30日発行

板橋区立板橋第一小学校

校長 荻久保 剛正

【教育目標】**知恵** 自分で考え、表現できる子 **心** 思いやりをもち、認め合える子 **元気** 心と体を大切にし、学び続ける子

【保幼小中連携】板三中・板一小・板八小・中根橋小

「小中一貫板三エリア」4校で一貫した教育理念の下、義務教育9年間で子どもたちを育てます。

子どもたちの成長をともに実感する

校長 荻久保 剛正

新年度が始まり、約1か月。開花の遅かった桜もすっかり緑の葉を蓄え、校庭は新緑に包まれています。板一小のシンボルツリー大イチョウの木もぐんぐん葉と花を増やし、新しい1年の始まりを感じさせてくれています。校舎の中では、入学してきた1年生の子どもたちが少しずつ学校に慣れ、表情が柔らかくなっていく様子を見ることができます。2年生から6年生も、進級したことをただ喜んでだけでなく、それぞれの子どもたちの責任感が高まってきているように感じています。先週の離任式では、離任された先生方を整然と整列し、迎える姿や、一緒に学校生活を送ってきた思い出を振り返り、しっかりと感謝の気持ちを伝える姿を目にすることができました。進級することで立場が変わり、その立場が変わることが、自然と子どもたちの成長を後押ししてくれていることを実感させられます。毎年のことではありますが、年度の始まりは特に、子どもたちの成長を嬉しく思い、変化を実感する瞬間です。



さて、4月は、保護者会、土曜授業プラン、引き取り訓練と、保護者の皆様にご来校いただく機会も多く、子どもたちが成長していく姿に触れていただけたことと思います。たくさんの皆様のご来校ありがとうございました。今年度も、様々な機会に子どもたちの生き生きと活動する姿をお届けできればと考えています。そのためにも、保護者会でもお伝えしましたが、学校支援地域本部から発信するボランティアなどの機会に、ぜひご協力ください。よろしくお願いいたします。

今、学校では少しずつ運動会に向けての準備が始まっています。まずは、短距離走に向けて、各々の子どもたちが今の自分の力を発揮し、タイムの計測を行いました。本日より運動会特別時程も始まりました。ゴールデンウィークが明けると、各学年の表現運動の練習等本格化してきます。コロナ禍でそれぞれの取組のよさや意義について再考し、子どもたちの成長にとって何が必要なのか、どんな活動に取り組みさせることがよいのか、考える中で作り上げてきた新しい学校のスタイル。アフターコロナとなっても、よりよい取組をめざしていることに変わりはありません。コロナ禍以前の取組に戻すのではなく、今の子どもたちに、そして、今の教育が求めている子どもたちの成長に合った取組にしていこうと思っています。今年度の運動会は、全校の子どもたちが同じ時間を共有し、自分の成長だけでなく、上や下の学年の子どもたちとともに、成長していることを実感できるように意識させていきたいと思っています。そして、今年度迎える本校の150周年を共に迎えらるることの喜びも実感できるよう、練習、運動会当日を盛り上げていきたいと思っています。そのためには、保護者の皆様、地域の皆様の大きな声援も欠かせません。日々練習に励む子どもたちへのエールを、そして、当日は、努力する姿に大きな声援をお願いいたします。

今月も職員一同、「チーム板一」として常に共通理解の下、取組を進めて参ります。職員だけでなく、保護者の皆様、地域の皆様方のご協力も得て、ともに子どもたちを支えて参りたいと考えております。保護者・地域の皆様の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

